【参考資料】

令和3年第4回奥州市議会定例会
条例追加議案 新旧対照表

議案第27号	奥州市市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
議案第28号	奥州市会計年度任用職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例

奥州市市有財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例新旧対照表

改正後	現 行
<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、<u>地方自治法（昭和22年法律第67号）第237条第2項の規定により</u>、財産の交換、譲与、無償貸付等に関し、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(普通財産の無償貸付又は減額貸付)</p> <p>第4条 普通財産は、次の各号のいずれかに該当するときは、これを無償又は時価よりも低い価格で貸し付けることができる。</p> <p>(1)・(2) 略</p> <p><u>(3) 前2号に掲げる者以外の者に対して普通財産である建物を貸し付ける場合において、次に掲げる条件を全て満たすとき。</u></p> <p>ア <u>普通財産の使用を開始するために要する費用並びにその維持及び管理に要する費用の全部を借受人が負担すること。</u></p> <p>イ <u>原則として用途又は原形の変更を行わないこと。</u></p> <p>ウ <u>ア及びイに掲げるもののほか、市長が必要と認める事項</u></p> <p>(補則)</p> <p>第8条 <u>この条例に定めるもののほか必要な事項は、市長が別に定める。</u></p>	<p>(趣旨)</p> <p>第1条 この条例は、財産の交換、譲与、無償貸付等に関し、<u>法令その他別に定めがあるものを除くほか</u>、必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(普通財産の無償貸付又は減額貸付)</p> <p>第4条 普通財産は、次の各号のいずれかに該当するときは、これを無償又は時価よりも低い価格で貸し付けることができる。</p> <p>(1)・(2) 略</p>

奥州市会計年度任用職員の給与等に関する条例新旧対照表

改正後	現 行
<p>(第1号会計年度任用職員の特殊勤務手当に相当する報酬)</p> <p>第6条 給与条例第11条第1項の勤務に従事する第1号会計年度任用職員には、第3条の規定による報酬のほか、奥州市職員の特殊勤務手当に関する条例（平成18年奥州市条例第48号）の規定の例により算定して得た額の特殊勤務手当に相当する報酬を支給する。</p> <p>(会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第15条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に100分の122.5を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3・4 略</p>	<p>(第1号会計年度任用職員の特殊勤務手当に相当する報酬)</p> <p>第6条 給与条例第11条第1項の勤務に従事する第1号会計年度任用職員には、第3条の規定による報酬のほか、奥州市職員の特殊勤務手当に関する条例（平成18年奥州市条例第48号。以下「<u>特殊勤務手当条例</u>」という。）の規定の例により算定して得た額の特殊勤務手当に相当する報酬を支給する。</p> <p>(会計年度任用職員の期末手当)</p> <p>第15条 略</p> <p>2 期末手当の額は、期末手当基礎額に100分の130を乗じて得た額に、基準日以前6箇月以内の期間におけるその者の在職期間の次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を乗じて得た額とする。</p> <p>(1)～(4) 略</p> <p>3・4 略</p>